

せったん

第158号 2015年7月5日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



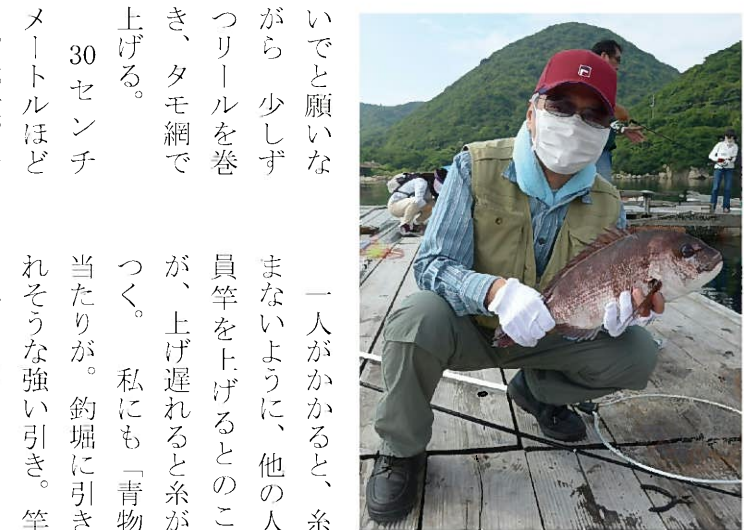
《感想文》釣りツアー

タイや青物の引きにワクワク

北摂・丹波支部と姫路・西播支部は5月31日、「釣りツアー」を共催。会員・家族・スタッフら38人が、姫路市家島の海の釣り堀「水宝」を訪れ、タイなどを釣り上げた。支部幹事の岡本晴夫先生の感想を紹介する。



大きな青物を釣り上げた小寺(左)・岡本(右)先生



タイとツーショットの福田先生

参加者約40人、朝6時半姫路港に時間内に集合。女性や小さな子どもさんが多かった。30分ほど船に揺られ家島へ。

竿を借り、8時の鐘を合図に一齐にスタート。すぐにあちこちで釣れ出す、自分にはあたりが来ず、少し焦る。とりあえず竿を上げると、餌がない。

釣り針に、ミックという団子状の餌を付けるが、投げる時に少しでも遠くにとの思いのため、着水時に外れることに気付く。しっかりと付け、ゆっくり投入。すぐに引きがあり、逃げな

のタイが釣れた。感激。今日はこれで満足と思いが、再び投入。引きがありすぐ上げると逃げられ、待ちすぎるとのど深く針を飲み込まれ：などしながら、面白いように40分ほどで5匹釣れた。なぜかそこで皆の竿が止まってしまふ。

時々釣れている人もいるが、タナ(魚の水深)の位置が違うのではとか、餌の団子が小さい方がつれやすいついとか、ミックよりエビが良いとか、周囲からの情報を参考にいろいろ試してみる。

そのうち、餌を活きたアジに替える人があり、「青物」と言われる元気の良いのが時々釣れます。私も餌を1匹100円の活きたアジに変更。餌が動くのだから、浮きもうろうる、びくびく。

一人がかかると、糸が絡まないように、他の人は全員竿を上げるとのことだが、上げ遅れると糸が絡みつく。私にも「青物」の当たりが。釣堀に引き込まれそうな強い引き。竿のたわみを利用しながら、ゆっくりリールを巻き、ようやく上がる。40センチメートルほどのツバスだ。ツーショットで写真を写してもらう。

4時間があったという間に過ぎ、集合写真の後、帰路に就く。
2年前、北摂・丹波支部の幹事会で武本淑子先生が提案された「水宝」でのタイ釣り。今回ようやく念願かない参加でき、楽しい日を過ごせ、大満足でした。協会事務局の方々、お世話になりました。

帰路、飾磨で見つけた露天風呂あかねの湯に浸かり、タイやツバスの引きを思い出しながら、早くも次年度の開催を楽しみにしているところです。

【三田市・歯科

岡本 晴夫】



参加者一同で記念撮影(上)親子で大物を釣り上げた森本先生(中)タイを釣り上げた武本先生(下)

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部 第27回支部総会のご案内

北摂・丹波支部支部長 森下 順彦

記念講演

地域医療構想で北摂・丹波はどうなる？

日時 7月11日(土) 総会議事 午後5時30分～、講演 午後6時～
 会場 キッピーモール6階「講座室」 懇親会は「はな子」(午後8時～)
 (三田市駅前町2番1号 TEL079-559-6154)
 講師 明石市・西山クリニック院長(兵庫県保険医協会理事長) 西山 裕康先生
 篠山市・すぎもとボーン・クリニック所長(支部幹事) 杉本 健郎先生
 参加費 無料(懇親会:無料)

先生方におかれましては日々ご清栄のこととお喜び申し上げます。標記の通り、北摂・丹波支部第27回支部総会を開催いたします。

国会では、医療保険制度改革関連法が可決・成立しました。この法は患者負担増計画をはじめ、国保の都道府県化や患者申出療養制度の創設など、医療現場に大きな影響をもたらすものばかりです。このような情勢のもとで、医療・介護・福祉など社会保障の充実をめざす協会の活動は一層重要性を増しています。支部総会では2014年度の支部活動を振り返り、15年度の活動方針を先生方とともに確認したいと存じます。

今年の記念講演は、昨年6月に成立した医療・介護総合法で都道府県に策定が義務付けられた「地域医療構想」について、全体の概要と問題点を協会政策部で活躍されている、兵庫県保険医協会理事長の西山裕康先生に、北摂・丹波の医療提供体制は今後、具体的にどうなる可能性があるのかを、支部幹事の杉本健郎先生にそれぞれお話しいただきます。「地域医療構想策定ガイドライン案」には、都道府県知事に大きな権限が与えられており、今後都道府県による民間病院への病床転換や病床削減要請が頻発する可能性もあります。

先生方のご参加をお待ちしております。

お問い合わせは協会事務局 TEL078-393-1807・9 担当:石本・三田まで

当日の出欠は返信 FAX にて Fax 078-393-1802

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部

第27回総会(7/11・土) 参加申込並びに委任状

総会・講演 出席する 出席できないので議長に委任する

懇親会 参加する()人 参加しない

地区 (三田市・篠山市・丹波市) 医療機関名 ()

ご芳名 () 会場の地図(要・不要)



医療機関で起こりそうな場面を想定してディスカッションし、松田先生が的確にアドバイスした

医療機関で起こりそうな場面を想定してディスカッションし、松田先生が的確にアドバイスした。これを基本に、次は過去にあった松田先生への質問から、さまざまな状況での患者対応を学びました。待ち時間が長い時は、患者さんから聞かれる前にこちら

今回の接遇研修会では、最初に患者対応のマナーを学びました。マナーとは相手を思いやること・相手に対するブラ

スの気持ちを表現することであって、堅苦しいものではなく安心を伝えるものです。身だしなみ・言葉遣いはもちろん、表情(笑顔)・声の表情(トーン)・スピード等)も豊かであることが大切です。

北摂・丹波支部は5月30日、三田市・キッピーモールでマネジメントコンサルタントの松田幸子先生を講師に招き、接遇研修会「患者対応(受付・電話)のスキルアップ」を開催。医療機関のスタッフを中心に35人が参加した。整形外科ふくしまクリニック受付の福島奈那氏の感想を紹介する。

患者対応学ぶ

《感想文》接遇研修会

さまざまな状況での

から現況を伝える。話が長い患者さんはしっかり聴きながら、話のペースを変えたい。このためのタイミングを作る。こちらの説明をなかなか理解してもらえない患者さんへは、いろいろ言い過ぎず「一文一項目」で話を組み立てるなど、さまざまな意見を出し合いました。今回、当院では「新人研修」として、新しい職員達に参加してもらいました。中にはベテランの看護師もおりますが「このような研修は初めてなのでとても新鮮だった」「どこの医療機関も悩むことは同じで、共感できた」など、いろいろな感想が聞きました。最後にありがとうございました。講師の松田幸子先生、楽しい研修をありがとうございました。

福島 奈那

☆北摂・丹波支部ニュースへの投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1807 / FAX 078-393-1802 e-mail sanda-a@doc-net.or.jp 担当:三田まで